

第 26 回 環境情報科学センター賞

<学術論文賞>

受賞者：松本安生

(神奈川大学)

対象業績：「視覚化された気候データの提供が気候変動の認知と不安に与える影響」ほか一連の研究



【選考理由】

受賞者の審査対象は、単著論文 1 編、筆頭著者としての共著論文 4 編、報告 1 編であり、すべて当センター刊行の論文集に登載されたものである。それら一連の研究は、気候変動や災害などに対する人の意識と行動変容を研究対象としており、その分析手法は、アンケート調査のデータの回帰分析や要因分析等に基づいている。代表的なものとして、「視覚化された気候データの提供が気候変動の認知と不安に与える影響」の単著論文(②論文)がある。この研究は、無作為抽出した市民 2000 人を対象に、一般的なグラフ形式の情報提供(統制群)と視覚化されたデータの情報提供(実験群)において、気候変動問題の認知と不安に与える影響について統計的手法を用いて明らかにした。

その他の論文を含め、受賞者は一貫して、個人の気候変動対策の取り組みへ与える様々な影響因子について、科学的手法による信頼度の高いかつ有用性のある分析を行っており、学術論文賞候補に値すると思料するものである。

<対象論文>

- ① 論文「場所への愛着と被災への不安の感情的要因が気候変動の対策行動に与える影響」環境情報科学 学術研究論文集 39,17-22 頁 (共著) 2025/12
- ② 論文「視覚化された気候データの提供が気候変動の認知と不安に与える影響」環境情報科学学術研究 論文集 38,45-50 頁 (単著) 2024/12
- ③ 論文「気候変動による被災不安とその規定因に関する研究」環境情報科学論文集 37,142-147 頁 (共著) 2023/12
- ④ 論文「グループフィードバックが省エネルギー行動と電力消費量に及ぼす影響」環境情報科学論文集 36,62-67 頁 (共著) 2022/12
- ⑤ 論文「環境意識の世代間差異にライフイベントと環境教育が与える影響」環境情報科学論文集 35,173-178 頁 (共著) 2021/11
- ⑥ 報告「気候変動緩和に向けた普及啓発事業による効果とその関連要因」環境情報科学 51(3),85-90 頁 (共著) 2022/09